

冠水したウイング用パワーユニットの取扱いについて

集中豪雨などで冠水したウイング（トラック・トレーラ）用のパワーユニットの取扱いは下記にてお願いします。

1. 処置

パワーユニット ASSY にて交換してください。

2. 理由

- ① ユニット内の配線、モータのコイル等が水分のため腐食していると、通電時に発火する恐れがあります。
- ② トラクタと連結している場合、上記①の時、過大電流によりトラクタの電気系に重大な損傷を与える恐れがあります。
- ③ トラックの場合も上記①の時、過大電流によりトラックの電気系に重大な損傷を与える恐れがあります。
- ④ 長時間冠水した場合、ユニットのオイルタンク内に海水が浸入し、羽根作動時等に油圧配管を介して油圧シリンダーに至り、油圧シリンダーの錆・腐食により羽根の作動不良（上がったまま動かなくなる等）を起こす原因となります。

3. 事例写真



①ユニットのボックス内に冠水し各部が腐食しています。



②作動油内に海水が混入し白濁し量が増えています。

4. 注意事項

- ① 冠水した車輛の羽根は開閉しないでください。被害が拡大します。
- ② ユニットの交換した場合でも関係の電気配線（操作ボックス、トラクタとの接続部等）の点検整備を充分に実施してください。

以上

日本トレクス株式会社

サービス部サービス課

承認	審査	担当